

イゼベル、バラム、そして現在の世界経済危機

2008年11月1日 アシェル・イントレーター

今週、私たちはエルサレム郊外にあるヤッド・ハシュモナ・メシアンニック・キブツでの活動のために新しい施設をオープンさせました。そこにはオフィス、トレーニングセンターに祈りの部屋が含まれています。そこでの最初のイベントは私の友人であるルー・エンゲル師やマイク・ビックル師によって導かれている「ザ・コール・カルフォルニア」の開催時間に合わせて、徹夜祈禱集会を行いました。このイベントはエリヤに対するイゼベル、そして彼女につく預言者たちの霊との間での霊的な対決のようでした。

イゼベル、バラム、そして淫婦

黙示録 12 章には栄光の女の預言的な図を説明していますが、17 章では罪の女について説明しています。私はこれを「花嫁」と「淫婦」と呼びます。この二つのイメージは聖書全体を通して女性に対する多くの預言的な図の頂点です。女性は人類を表します。良い方は義人であり、悪い方は悪の人々(および彼らに伴う悪霊)です。

「淫婦」は不品行、情欲、貪欲を表し、今日の西洋の世俗社会と関連します。この霊は「大水の上になすわっている」(黙示録 17:1)、その意味は世界中の多くの国々に影響を与えるということです。淫婦の霊はイゼベルの霊と密接に関わっています。

イゼベルは歴史上の人物で、アハブ王の妻でした。しかし、この名前はある女性を通して働く悪魔的な霊に言及するところから来たもので、主に姦淫、魔術、そして男性の霊的権威を弱体化させるもの等から来ています。この霊はアタルヤ王妃、デリラ、ヘロデヤ(注)等に働いていました。

注:アタルヤはユダの王アハズヤの母で、イスラエル王オムリの娘。(II 列王記 8:26)。デリラは遊女でサムソンに近づいた。(士師記 16:1)。ヘロデヤは国主ヘロデの兄弟ピリポの妻。後にヘロデの妻となった。その娘がサロメ。(マタイ 14 章)

黙示録 2:20 – 「(前略)この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて誤りに導き、不品行を行わせ、偶像の神にささげた物を食べさせている。」

この御言葉から明らかであるように、イゼベルの霊は世に対して働くだけでなく、「女預言者」として偽装し、コングリゲーションや教会の中でふしだらで人を操る女として働きます。

しかし、男性たちの間でもイゼベルの霊と並行する方法で働く霊があります。それはバラムの霊と呼びます。

黙示録 2:14 - 「バラムはバラクに教えて、イスラエルの人々の前に、つまずきの石を置き、偶像の神にささげた物を食べさせ、また不品行を行わせた。」

バラムもまた歴史上の人物で、バラク王がイスラエルを呪うために雇った預言者でした。主の御使いがバラクの計画をくじいて、呪いは祝福へと変えられました(民数記 22-24 章)。しかし、民数記 25 章では、バラムは新しい計画を思い立ちました。モアブの若い女性たちをイスラエル人に送り込み、「パーティ」をさせたのです。結果は、不品行、偶像礼拝の蔓延で数万人が殺されました。

神はこの問題に関して「女性差別主義」ではありません。それには男性、女性両方の側面があるのです。両方が公平に裁かれるのです。(実際、聖書には第一に真の霊的な公平さがあります。民族的、性別、そして経済的に公平で、「ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。」 - ガラテヤ 3:28)

イゼベル、バラム、および淫婦の霊は学校やメディアで反抗を促進し、性的不品行をエンターテインメント産業、広告宣伝、ファッションで促進し、ポルノ、幼児性愛、男性間および女性間同性愛、中絶、過激なフェミニズムを促します。私たちはイスラム世界、アフリカやアジアで抑圧された女性たちに対する場合、私たちはフェミニズムの擁護者であります。しかし、フェミニズムが西洋世界で曲解され攻撃的なものとなって家族や結婚の価値の破壊を要求するならば、それは女性に対して危険であり全体として社会に対しても破壊的になります。

義なるビジネスマンに対する言葉

現在の世界経済危機は貪欲と墮落に対する神の裁きとして見ることができます。問題の一つは「デリバティブ」で、一連の投資家たちに債券が拡張され複数の抵当や借金を通して巨額の利益を上げているものです。このシステムが壊れると、問題を起こした人々は何百万ドルの利益と共に去って行きます。このような「ホワイトカラー」犯罪を起こした者たちを罰する法律が可決し施行されるように私は祈ります。

その一方で、ビジネスを誠実に運営し、貪欲によって動機付けられていない上、債券、借金を拡張しすぎることをしない正直な男女がいます。今この時こそ、これらのビジネスパーソンたちが立ち上がって金融世界を指導するのです。もしあなたが義の心を持ち、このような「市場」にいるのであれば、私たちはあなたに対して知恵と繁栄、勇気と励ましによって祝福します。私たちはイエシュアの御名によって、あなたに対する混乱、抑鬱、恐れを縛ります。あなたが堅実さと安定さによって前に進み出て、正しい時に正しい判断をすることができるようにお祈りします。

神と民主主義

神の御国は君主制であり、民主主義ではありません。しかし今この時代、神はご自分の統治を、それを望まない人々に押しつけるよりも、私たちが道徳的な御心について学ぶことを望んでおられます。サウル王が選ばれる前、神はサムエルに人々が選んだことは間違っており、彼らは神とサムエル両方を拒んでいると伝えた。それでも主はサムエルに対して彼らが望むものを与えなさいと指示しました。(1サムエル 8:7-8) 彼らは「困難な道」を学ぶ必要があったのです。

同時に、神はサムエルに正しいことと間違ったことに関するすべての問題について人々に説明しなさいと指示しました。(1サムエル 8:9～) 現在のアメリカ大統領選について私たちが祈っていることの一つは、明瞭性です。つまり、特に道徳や霊的なものについての問題が完全に明らかとなることです。私はマケイン候補とペイリン候補が家族の価値観の問題について明瞭に話すよう祈っています。

終わりの時の神の裁き

終わりの時に、光はより輝き、暗やみはより暗くなります。恐れる時ではなく、私たちの光がさらに忠実に輝きますように(イザヤ 60:1-3)。神は正義を施行するために、光と闇を分けつつあります。 私たち多くの者は神の裁きを良いものとして見ることに馴れていませんが、それがどんなに難しく見えようと、主が正義をもたらす際に、私たちは主を賛美するのです。

神の裁きは天において賛美と礼拝の中心的なテーマです(黙示録 11:17-18、15:3-4、16:5-7 参照)。神の裁きは人に悔い改めをもたらすよう計画されています(黙示録 9:20-21)。ある者は悔い改め、多くの者は悔い改めません。いずれのケースにおいても、主の裁きは主の聖性と誠実性をはっきり示します。私たちの祈りと賛美は神の裁きを活性化するものの一つです。(黙示録 8:3-6)。最終的にそれはこの地球においてイエシュアの御国の勝利へと導かれます(黙示録 11:15)。